国際協力機構 JICA

# JICAベトナム事務所 月報

第 176 号（2024 年 5-6 月号）
2024 年 6 月 26 日発行

本月報に関するご意見、ご要望は
vt_oso_rep@jica.go.jp までお送り下さい。

Website（日・越・英）：
http://www.jica.go.jp/vietnam/vietnamese/index.html

Facebook（越）：
https://www.facebook.com/jicavietnam/

発行：JICA ベトナム事務所広報班

# 目次


## プロジェクト活動

- 国内最大のがん専門病院の医療機材整備に関し、無償資金協力贈与契約を締結 3
- 「2050 年までのネットゼロ排出に向けたグリーン変革と資金調達」 ビジネスフォーラムを開催 4
- 中小企業 SDGsビジネス支援事業「自動車産業における技術者及び技能者育成プログラム普及実証ビジネス化」事業のキックオフ会議が開催 5
- ベトナム教育訓練省から JICA 専門家に「教育功労章」 を授与 6

## イベント

- ベトナム日本人材開発インスティテュート（VJCC）第 18 期経営塾の閉講式及び第 20 期経営塾の開講式を実施 7
- カントー大学で行われた「学生スタートアップイベント SV Startup 2024」 JICA 協力ブースにチン首相が訪問 8

# 国内最大のがん専門病院の医療機材整備に関し、無償資金協力贈与契約を締結

国際協力機構（JICA）は、5 月 28 日、ベトナム・ハノイにおいて、同国政府との間で「国立がん病院における医療機材整備計画」を対象として 18 億 3,000 万円を限度とする無償資金協力の贈与契約（Grant Agreement: G/A）を締結しました。G/A 署名式には、署名者である JICA ベトナム事務所の菅野 祐一所長とベトナム保健省のダオ・ホン・ラン大臣らが参加しました。

本事業は、年間約 6 万 8600 人の入院患者と 44 万 6800 人の外来患者を受け入れ、約 3 万 700 件の外科手術を実施するベトナム最大のがん専門病院の医療機材を整備します。

具体的には、PET/CTシステム、MRI撮影装置、CT 撮影装置、血管造影撮影装置、X 線撮影装置、医療用画像管理システム（PACS）等の医療機材調達を予定しています。

本計画は、ベトナムのがん疾患に対する最大拠点病院である国立がん病院の第一施設の医療機材を整備することにより、ベトナムにおいて高まっているがん疾患の診断・治療に対する需要に貢献します。

贈与契約（Grant Agreement: G/A）署名式参加代表者による記念写真

# 「2050 年までのネットゼロ排出に向けたグリーン変革と資金調達」 ビジネスフォーラムを開催

記念写真

4 月 11 日、ベトナム天然資源環境省（MONRE）、ベトナム商工会議所（VCCI）傘下の持続可能な開発のためのベトナムビジネス協議会（Vietnam Business Council for Sustainable Development）、および国際協力機構（JICA）は、パリ協定に係る「自国が決定する貢献（NDC）」実施支援プロジェクト（SPI-NDC）の一環として、ハノイにて「2050 年までのネットゼロ排出目標に向けたグリーン転換と金融に関するビジネスフォーラム」を共催しました。本フォーラムには、各省庁、民間企業、投資家、金融機関、報道機関から 150 人以上の代表が対面で参加し、オンラインでも国内外から 100 人近い参加者がありました。

2023 年の COP28 ドバイにおけるパリ協定に向けた国際社会の新たなコミットメントと、法的枠組みを通じたパリ協定の着実な実施に向けたベトナムの先進的な取り組みを受け、本フォーラムでは、主要な政府機関、民間企業、投資家コミュニティのメンバーが集まり、排出削減に関する最新の法的規制、ネット・ゼロに向けた企業の経験、ベトナムのグリーンな変革を可能にするための具体的な機会についての意見交換が行われました。

プレゼンテーションでは、温室効果ガス排出削減を導くための最新情報が発表され、より良い政策環境を提供するための政府の継続的な努力、ダイナミックな国際情勢の現状と展望、温室効果ガス削減のための企業の具体的な取り組み事例などが共有されました。

パネルディスカッションでは、JICA SPI-NDC プロジェクト チーフアドバイザーの福田幸司氏がモデレーターを務め、グリーンポートフォリオの拡大や GHG 排出削減における金融機関の役割と努力、またベトナムにおける持続可能性とトランジション・ファイナンスに対する戦略的アプローチについて紹介がありました。また、更なる企業行動や投資のためのより良い政策環境に向けた課題や方針についても議論されました。

JICA ベトナム事務所からは、今後もベトナム政府や民間セクターと緊密に協力し、ベトナムのグリーンな移行プロセスを支援していくことが言及されました。ワークショップを通じて、国家競争力の源泉となるグリーン産業における気候変動対策の戦略的価値と、ネットゼロへの移行という文脈の中で安全なエネルギーを確保するための解決策が再確認されました。

# 中小企業 SDGsビジネス支援事業「自動車産業における技術者及び技能者育成プログラム普及実証ビジネス化」事業のキックオフ会議が開催

5 月 24 日、ホーチミン市工業大学にて中小企業SDGsビジネス支援事業「自動車産業における技術者及び技能者育成プログラム普及実証ビジネス化」事業のキックオフ会議が開催されました。

現在ベトナムは豊富な労働力を有しているものの、今後はさらに高度で付加価値の高い産業構造が目指されております。昨今では電気自動車も街中で見かけるようになり、こうした分野での人材育成も求められております。本事業は岩手県の村上商会と一関高専が連携をして開発した PIUS という小型の電気自動車型の教材を活用し、ホーチミン市工業大学を代表とする高等教育機関に向けた導入支援、そして人材育成プログラムの展開を図り、ベトナムの高い技能を有する労働者育成に貢献するというものです。

単に座学だけではなく PIUS という教材を用いて、その分解や組立を学生自らが行うことで、より実践的な技能を身に付ける。5S、カイゼン、3 現主義、そして安全管理などの生産現場で必要な要素を総合して体験できる教材キットとなっており、実践的な教育を行うに際して、この PIUS という教材はその手助けの一つとなることを期待しています。

今後、同大学の自動車工学部と組み、PIUS 教材キットの導入にかかる各種調整を行いながら、先ずは同大学での普及、定着を試みます。しっかりとしたものづくりの基礎、そして何より安全管理も重要であるとの認識のもと、事業を進める予定です。

商工省、HCMC 工業大学、村上商会、JICA メンバーによる集合写真

## プロジェクト活動

# ベトナム教育訓練省から JICA 専門家に「教育功労章」を授与

集合写真

2024 年 1 月に終了した SATREPS「ベトナムにおける建設廃棄物の適正管理と建廃リサイクル資材を活用した環境浄化およびインフラ整備技術の開発」の研究代表者である埼玉大学院理工学研究科 川本健 教授がベトナム教育訓練省より『教育功労章』を授与、ハノイ国立建設大学より『名誉教授』の称号を授与されました。

川本健 教授の貢献、そして授賞式の詳細を知りたい方はぜひ以下の記事をご覧ください！

大学院理工学研究科 川本健 教授がベトナム教育訓練省より『教育功労章』を授与、ハノイ国立建設大学より『名誉教授』の称号を授与されました | 埼玉大学 (saitama-u.ac.jp)

SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力）：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と JICA が共同で実施する、地球規模課題の解決のために日本と開発途上国の研究者との共同研究を通じて行われる技術協力

# ベトナム日本人材開発インスティテュート（VJCC）第 18 期経営塾の閉講式及び第 20 期経営塾の開講式を実施

5 月 20 日にベトナム日本人材開発インスティテュート（VJCC）にて第 18 期経営塾の閉講式及び第 20 期経営塾の開講式が開催されました。

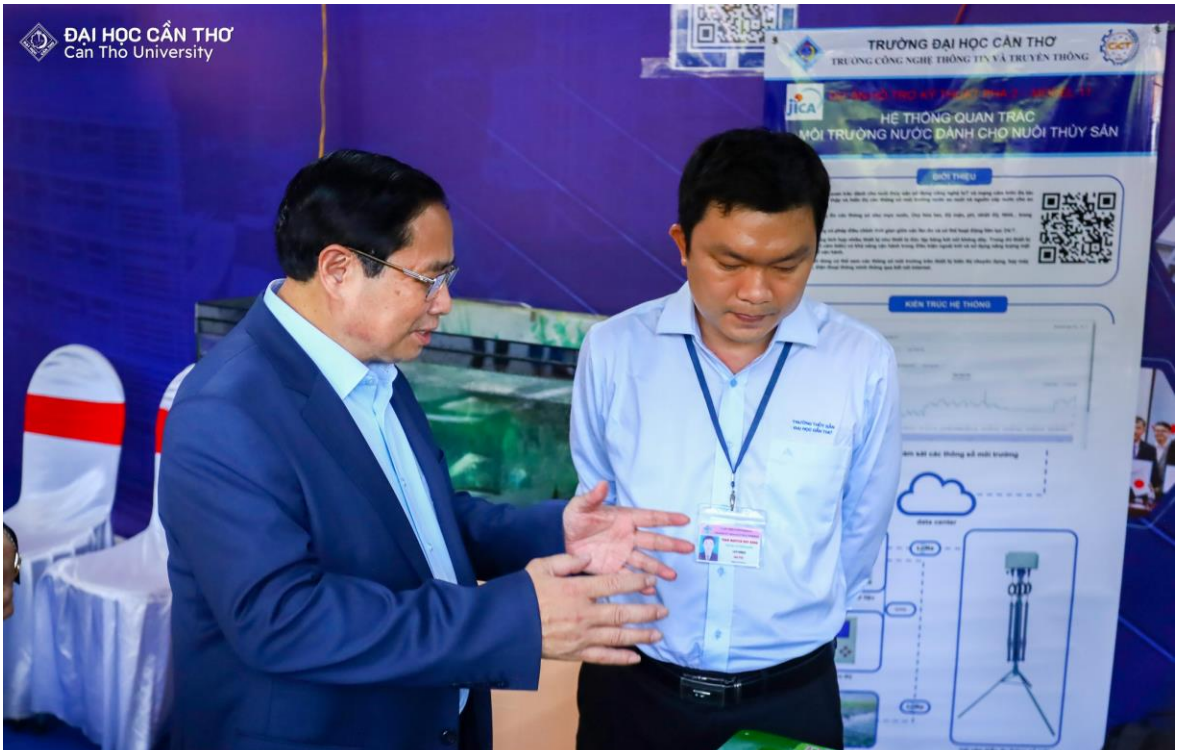
経営塾は、これまで 15 年に渡り激動の国内外情勢の潮流に対応した魅力的なカリキュラムを提供してきた、JICA が支援しているベトナムの経営者育成を目的とする約 10 ヶ月間の研修コースです。

式典の挨拶で、JICA ベトナム事務所・菅野祐一所長は第 18 期修了生へ研修修了のお祝いの言葉を述べました。

また、第 20 期新入生を歓迎し、経営塾を通じて日本式経営ノウハウ・マインドに加えて、ベトナム流ビジネスの強みを融合させ、経営塾が「日越式」ビジネス教育の新たな拠点となることを期待していると発言しました。最後に、同所長は経営塾修了生約 800 名が参加する OB 組織の経営塾クラブについて、日越両国企業間のマッチングの場として発展していることなどを高く評価しました。

記念写真（写真：ハノイ貿易大学）

# カントー大学で行われた「学生スタートアップイベント SV Startup 2024」JICA 協力ブースにチン首相が訪問




チン首相（左）に閉鎖式循環システムを説明する水産学部 Khoa 先生
写真:Can Tho University Facebook

5 月 12～13 日、カントー大学（CTU）で、ベトナム全国の大学生・高校生から優秀なアイデアや起業事例などを持ち寄る学生起業家スタートアップデーのコンテストおよび各種フォーラムが行われました。この機会に CTU の若手研究者の研究成果を展示及び発表するブースが学内に多く設けられる中、JICA のプロジェクトが支援する技術モデルの一つである「モデル 7: メコンデルタにおける気候変動と塩水遡上に適応した先進的かつ持続可能な水産養殖システムの開発」や「モデル 11: インダストリー 4.0 による環境モニタリング技術の農業・養殖業への応用」を紹介するブースに、ファン・ミン・チン首相が訪問されました。

JICA のロゴが入った研究紹介パネルを背に、CTU のプロジェクトメンバーは緊張した面持ちながらもチン首相に日本との共同研究について説明していました。JICA と CTU との取組みがよりベトナム政府のハイレベルクラスに伝わっていくきっかけになれば嬉しいです。